

# つくば市民白書 2012 実行委員会 第 1 2 回会合議案

日時：2011 年 7 月 2 日(土)14:00-16:00 場所：市民活動センター 議題： (1) 報告(経過、その他) (2) 協議 ・6.18 立ち上げシンポジウム詳細 (3) その他
--

(1) 報告

①経過報告

- 5 月 7 日(土) 第 11 回実行委員会(市民活動センター)
- 6 月 18 日(土) つくば市民白書 2012 立ち上げシンポジウム

②立ち上げシンポジウム報告

名称：つくば市民白書 2012、立ち上げシンポジウム  
 日時、場所：2011 年 6 月 18 日(日)13:00-16:00 つくば市、市民活動センター会議室  
 人数：15 名 収入：4200 円(300 円未収)  
 まとめ：別紙参照

(2) 協議

①白書の構成

シンポジウム報告を受けて各項目を整理して、白書構成を作る。(別紙)

②編集体制

編集委員会の構成と役割、執筆者の選定

③スケジュール

2011 年 7 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 12 回実行委員会(7/2)構成の確認、執筆依頼者の選定</li> <li>・執筆依頼、原稿執筆順次開始</li> </ul>
8 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・執筆依頼、原稿執筆</li> </ul>
9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・執筆依頼、原稿執筆、内容調整</li> </ul>
10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・執筆依頼、原稿執筆、内容調整</li> <li>・中間検討会準備</li> </ul>
11 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・執筆依頼、原稿執筆、内容調整</li> <li>・(11~12 月)中間検討会</li> </ul>
12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・執筆依頼、原稿執筆、白書構成検討</li> </ul>
2012 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 次稿完成、構成検討、追加原稿</li> <li>・頒布計画作成</li> </ul>
2 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 2 次稿完成</li> <li>・出版シンポジウム準備</li> </ul>
3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終稿完成、印刷屋へ出稿</li> </ul>
4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成</li> <li>・記念シンポジウム</li> <li>・頒布開始</li> </ul>

(3) 次回第 13 回実行委員会

7 月 22(土),24(日)、30(土),31(日)      8/6(土),7(日)  
 8/20(土),21(日)    27(土),28(日)      9/3(土),4(日)      9/10(土),11(日)

(別紙 1 : 第 11 回会合まとめ)

## つくば市民白書 2012 実行委員会 第 11 回会合まとめ

日時：2011 年 5 月 7 日(土)14:00-16:30

場所：市民活動センター

出席者：河村、矢澤、横井、山本、野崎、寺門、原田

議題：

- (1) 報告 (経過、その他)
- (2) 協議
  - ・ 6.18 立ち上げシンポジウム詳細
- (3) その他

(1) 報告

①経過報告

前回 4 月 23 日(土)第 10 回実行委員会(市民活動センター)以降特に活動なし。

(2) 協議

①立ち上げシンポジウムの企画について

事務局提案の企画案を検討し、以下のような議論を行い修正した。

・シンポジウムの目的を明確にした方がよい。議論の結果、以下のようにまとめられた。

1. 2012 年版白書の発行準備が始まったことを市民に知ってもらう。
2. 2008 年版実行委員、執筆者および新たに関わってもらえそうな人たちに 2012 版の準備状況を知ってもらう。
3. 新たな実行委員を募集する。
4. 各章担当者が担当項目の概要を文書化し報告することによって、全体の中の位置づけと白書の全体構成を再確認する。
5. 参加者との対話を行う。

・「各論」は目次構成に沿った方がよい。

・各論の内容は、2012 年版白書の構想について各章担当者より現在考えていることを話してもらうことにする。各章により準備状況が異なるためスタイルは自由とする。

(例)この問題に関する自分の意見、現在起こっている重要な問題、状況全体の整理、章立ての構成案、章立て構成における課題などが考えられる。

・議論の結果、次のような企画を承認した。

名称：つくば市民白書 2012 立ち上げシンポジウム

日時：2011 年 6 月 18 日(土)13:00-16:00

場所：つくば市、市民活動センター会議室

人数：20～30 人

資料代：300 円

(プログラム)

13:00-13:15 1. つくば市民白書の概要の説明、2012 版の焦点(河村)

13:15-15:10 2. 各論 (15 分×7)

1. つくば市政と議会 (野口)
2. つくば市の財政問題 (亀山)
3. つくば市の医療、福祉問題 (横井)
4. つくば市の教育問題 (寺門)
5. 町づくり (河村)
6. 環境行政の課題 (矢澤)
7. 産業と観光 (早川) (予定)

15:10-15:20 休憩  
15:20-15:50 意見交換  
15:50-16:00 3. 体制、編集方針、スケジュール予定、終了(原田)

## ②立ち上げシンポジウムの準備

(宣伝)

・一般配布用ちらし

事務局でA4、1枚程度のちらしを作り300枚印刷し、5月18日(水)までに市民活動センターの「市民白書2012実行委員会」のBOXに200枚入れておく。矢澤が社会教育課を通して公民館(地域交流センター)に配布する。(できなかった場合は、実行委員で分担して公民館に持って行く。この場合は別途相談する。)

別途事務局が20枚程度、記者クラブに持って行く。

・ポスター

事務局で一般配布用ちらしと同様の内容でA3のポスターを100枚作り研究交流センターの研究機関のメールボックスに配布する。

(参加依頼)

・事務局で、2008年関係者を中心に個別に参加依頼をする送付先リストを作成する。

・事務局で、2012年版の構想案を含めた「参加案内」を作成し、5月18日までに郵送またはメール送付する。

(各論要旨)

・各論報告者は6月11日(土)までに、A4、2枚以内(数行のメモでもよい)の要旨を作成して事務局(tharada@japan.email.ne.jp)に送付する。あるいは当日40部印刷して持参する。

(当日資料)

・事務局が、経過、白書構成案、各論担当者作成の要旨などをまとめて当日資料を作成する。

・実行委員名簿の公表について、事務局が実行委員に確認する。(岡野氏については寺門が確認する。)

(当日分担)

司会、受付、会計、記録などの分担は決まらなかったため、当日までに確認する。

## ③スケジュールについて

当初作成のスケジュールより2ヶ月程度遅れているので、これに合わせてスケジュール(案)を修正する。

(スケジュール案)

(5月)

・第11回実行委員会(5月7日(土)、シンポジウム内容確定、宣伝)

(6月)

・立ち上げシンポジウム(6月18日(土))

(7月)

・第12回実行委員会(7月2日(土)14:00-17:00)

(7月～8月)

・執筆依頼

(9月～2012年1月)

・原稿執筆、一次稿完成

・9月～12月に中間検討会(シンポジウム)

(2012年1月～4月)

編集、最終稿、印刷、完成

## ④目次構成案の修正

2012年5月7日案に対して議論を行い、以下のように修正した。

<p>0 前文、目次など</p> <p>1 市政と議会 野口 (特別)自治基本条例 行政組織に関する組織、運営問題 つくば市の議会の問題 情報公開、市民協働</p> <p>2 財政 亀山 (特別)つくば市の財政問題</p> <p>3 医療と福祉 横井 国民健康保険 市立病院 高齢化</p> <p>4 教育と文化 寺門 (特別)「教育日本一」の実態 保育所、幼稚園、小中高 文化行政公民館の地域交流センター化 男女共同参画</p> <p>5 まちづくり 河村 (特別)TX沿線開発 中心市街地と周辺地域(北と南の高齢化過疎化) 地域コミュニティ問題 公務員宿舎の跡地 防災(東日本大震災の対応と市民のボランティア活動、つくば市の防災対策)</p>	<p>6 環境 矢澤 (特別)つくば環境スタイルと低炭素社会づくり つくばスタイル 環境行政 市民の活動 二酸化窒素測定運動</p> <p>7 産業と観光 (早川) つくば市の産業 農業、商業、工業、その他 産業振興 つくば市の観光</p> <p>8 科学技術と平和 大学、研究機関と市民生活 原子力行政 つくば市と市民の平和への取り組み</p> <p>付属資料 実行委員会の紹介(活動、メンバー) あとがき</p>
---	--

⑤実行委員会の運営について

実行委員会の運営について以下の議論があった。

- ・各章担当はグループ制が望ましい。  
編集委員会で議論する。
- ・初期立ち上げ資金が確保されていない。  
立ち上げシンポジウム後の第12回実行委員会で議論する。

⑥次回実行委員会

次回第12回実行委員会：7月2日(土)14:00-17:00 市民活動センター  
(以上)

(別紙2 6.18 立ち上げシンポジウム 河村まとめ)

## 「つくば市民白書2012」 立ち上げシンポジウム開かれる！

6月18日、「つくば市民白書2012」の立ち上げシンポジウムが市民活動センターで行なわれました。シンポジウムでは、つくば市民白書2012年版を発行する意義や編集内容について、概要が報告されました。そして、市民白書を発行することが着地点ではなく、白書を広く市民に読んでもらい、白書で取り上げている課題や提言が、つくば市政・議会活動、行政運営に具体的に生かされ、実行されることがゴールであることが、シンポジウムの参加者で確認されました。

### シンポジウムで発表された分野別の概要

#### 1. つくば市の財政問題：

自治体の財政破綻を防ぐために「自治体財政健全化法」が制定されている。市民には一般会計の収支しか報告がないため、一見問題なさそうに見える。しかし特別会計や企業会計が抱える借金は、2千億円近くあり、実質的な「公債費負担比率」は、約28%にもなっている。(25%以上で起債制限団体となり国の監督下になる)

#### 2. 市政と議会改革：

議会の様子が9月からインターネット放送される。入札制度改革については、一般競争入札全面移行が決定されているが、運用面で3000万円以上を条件付指名競争入札にする動きもある。「自治基本条例」「議会基本条例」については、つくば市でも制定の動きがあり、市民として注視していく必要がある。制定されている他の自治体の資料を提示して解説された。

#### 3. つくば市の医療、福祉問題：

公立保育所・幼稚園を統廃合して私立中心の幼保一体化で「子ども・子育て新システム」による保育制度の大転換が目指されている。介護保険料の値上げ、認定方法の改悪、介護報酬改定など制度が複雑でわかりにくくなった。2012年から介護保険料が値上げになり、月5千円程度、介護を受ける人は月15万円程度の負担。国民健康保険税値上で、滞納が20%へと増。

#### 4. つくば市の教育問題：

特別支援学校のアンケート調査から、通常学校の教育改革の必要性が明らかになった。つくばの養護学校の4割が通常学校からの転入者で教室が足りない状況。通常校では3人以上の障害者がいないと特別教室が作れない。手のかかる児童を養護学校へ、成績主義で学習についていけない児童を排除する傾向にある？教育制度の改善と整備が求められている。

#### 5. 産業と観光：

担当する市職員にヒヤリングし現状把握を行った。市としては、地元中小企業・ベンチャーの育成や技術的・経済的波及効果のある中堅企業の育成、地域資源の活用などをめざしている。観光については、観光事業者・観光関連団体と行政が連携して、筑波山麓の活性化、体験・滞在型施設の充実などで観光振興を図っているが、PR不足、利便性の向上などの課題は多い。

#### 6. まちづくり：

TX沿線開発とまちづくり、高齢化の進行、地域コミュニティー、安らぎのある景観と緑地保全のまちづくり等の項目が提案され、これらの項目を執筆してくれる協力者への呼びかけがあった。

#### 7. 環境行政の課題：

2030年までにCO2排出量50%削減を目標にして、環境教育、交通体系、田園空間、実験タウンの4つの柱が産官学民の協働で提案されている。その4つの課題で市民が取り組んでいる環境に関する項目について、執筆してくれる協力者への呼びかけがあった。

### 発表された分野についての参加者からのコメント

議員の給料や政務調査費について議論があった。市民に対する行政の協力度について、資料の提供などは有るのか？2008年版ではデータ等で協力があった。協力がなければ調査は困難。環境行政では、市民の取り組みが見えてこない。つくバス・つくタクの運行に市民が参加していないので、停留所が消えたり、遠くなったりで、茎崎地区では不便になった、などの議論があった。編集・執筆方針に関して、執筆者の意向がどの程度、尊重されるのか、などの意見が出された。

### 「つくば市民白書2012」発行に市民の協力を！

土建行政から暮らし優先の市政へと政策転換してほしい、との市民の願いに背中を押され、「つくば市民白書2008年版」が発行されました。いま、長引く不況の中で、つくば市も税収が落ち込み、地方交付金等の削減で財政事情は厳しい状況になっています。市民のくらしや福祉、教育、医療など、住民生活を守るのが地方自治体の役目です。住みよいつくば市を創るために、つくば市民白書2012実行委員会は、草の根で行政に目を向け、頑張っておられる市民のみなさまのご協力がどうしても必要であり、是非、お力をお貸しください、との訴えがありました。

実行委員としての協力の仕方は、原稿執筆、編集、原稿整理・校正、印刷出版、白書普及などがあります。ご自身ができることで、ご協力いただければ、と呼びかけています。

- ・ホームページ：<http://www.tsukuba-hakusho.org>
- ・連絡先：[information@tsukuba-hakusho.org](mailto:information@tsukuba-hakusho.org)

(別紙3：白書 2012 構成案)

<p><b>0 前文、目次など</b></p> <p><b>1 市政と議会</b> 自治基本条例 行政組織に関する組織、運営問題 つくば市の議会の問題 情報公開、市民協働</p> <p><b>2 財政</b> つくば市の財政問題</p> <p><b>3 医療と福祉</b> 国民健康保険 市立病院 高齢化</p> <p><b>4 教育と文化</b> 「教育日本一」の実態 保育所、幼稚園、小中高 文化行政公民館の地域交流センター化 男女共同参画</p> <p><b>5 まちづくり</b> TX 沿線開発 中心市街地と周辺地域(北と南の高齢化過疎化) 地域コミュニティ問題</p>	<p>公務員宿舎の跡地 防災（東日本大震災の対応と市民のボランティア活動、つくば市の防災対策）</p> <p><b>6 環境</b> つくば環境スタイルと低炭素社会づくり つくばスタイル 環境行政 市民の活動 二酸化窒素測定運動</p> <p><b>7 産業と観光</b> つくば市の産業 農業、商業、工業、その他 産業振興 つくば市の観光</p> <p><b>8 科学技術と平和</b> 大学、研究機関と市民生活 原子力行政 つくば市と市民の平和への取り組み</p> <p><b>付属資料</b> 実行委員会の紹介(活動、メンバー) あとがき</p>
--	--

**【1】つくば市政と議会（野口修）**

1、つくば市の現状

自治基本条例の策定、入札制度の改革、風車訴訟の敗訴、議会の閉塞感、議会特別委員会（議会改革）、9月議会からのインターネット放送

2、他の自治体の動き

自治基本条例：古河市／小美玉市／ひたちなか市（まちづくり市民会議）  
議会基本条例：銚田市（平成19年も理念条例止り）

3、可能性としてのつくば市政

1) 自治基本条例の策定

・ 市民参加の取り組み、コミュニティの問題、個別条例の策定条項（市民参加条例／市民投票条例／市民提案条例／）、議会の条項

2) 入札制度改革（一般競争入札への全面移行）

4、可能性としてのつくば市議会

9月のインターネット放送、議会改革の行方、議会基本条例

5、市民のアクションプラン

自治基本条例市民案の動き、議会の傍聴／議員評価

## 6、つくば市の希望

- ・自治基本条例（参加の仕組みと議会の役割の明記）
- ・議会基本条例の制定

### 【2】つくば市の財政問題

市の発展と人口の推移： 学園都市の建設、科学万博の開催、TX 開業及び沿線開発  
市の全ての会計： 一般会計、特別会計、企業会計 など  
市の借金の推移： 地方債発行残高、利子、債務負担行為  
財政健全化判断比率： 実質公債費比率、将来負担比率、実質赤字比率  
沿線開発の財政への影響： 5 開発地区の施行面積、計画人口、事業費、つくば市負担分  
東日本大震災の財政への影響： 地方交付税減額、臨時財政対策債、景気低迷・法人税減少

### 【3】つくば市の医療福祉問題

（医療）

- （1）成人対象健康診査（健康増進計画）
- （2）国民健康保険税値上げ
- （3）私立病院の休止

（福祉）

- （1）保育行政
- （2）介護保険
- （3）障害者の福祉

### 【4】教育と文化

- （1）養護学校
- （2）通常学校の教育改革の必要性

### 【5】まちづくり

- （1）TX 沿線開発

沿線5地区の都市基盤整備事業の状況、自然と都市が調和した土地利用、道路整備とインフラ整備、児童・教育施設、通勤都民からつくば市民への帰属意識と人口定着

- （2）高齢化と過疎化対策

学園都市の成熟と高齢化、学園中心部と周辺地域との格差、地域の高齢化と支援活動

- （3）地域コミュニティ活動の充実

自治会（区会）とコミュニティ活動、地域自主防災組織と意識啓発、地域防犯活動と交通安全活動

- （4）市街地域と周辺地域の特性

上・下水道整備問題、自家用車に依存しない公共交通とつくばバスの充実、児童・学校教育の統廃合問題、自転車専用道路網の整備



(5) 安らぎのある景観と緑地保全

公園樹木・街路樹等の緑の保全、休耕地の有効利用と緑の保全、公園等の里親制度と行政との連携、公務員住宅の跡地利用と景観

(6) 子育て・学校教育・医療・福祉の充実

安心して子育てできる環境整備、個性豊かに育つ自立した教育、障害者と高齢者が安心して暮らせる医療と福祉

## 【6】環境行政

(つくば環境スタイル)

### 1. 環境教育

- 1) つくばIEC運動にみる学校や家庭におけるCO<sub>2</sub>削減運動
- 2) 小中高における環境教育の取り組み(竹園高校環境カルタ)
- 3) 一人一環境協力宣言(我が家のエコ宣言)
- 4) つくばエコライフ活動(レジ袋削減、エコバッグの取り組み)
- 5) 毎日がアースデイ(アースデイつくばの取り組み)

### 2. 交通体系

- 1) 自転車のまちつくば(自転車マップワークショップ)
- 2) エコドライブの啓発と効果(市民によるエコドライブ実験)
- 3) 市内路線バス網の再編(つくバスとつくタクの検証)

### 3 田園空間

- 1) グリーンバンク制度の検証
- 2) 廃食用油リサイクルの可能性
- 3) バイオマス利活用の推進
- 4) 森林ボランティアの活動の推進(ふれあい筑波)
- 5) 農と人をつなぐユートピアの取り組み(自然生クラブ)

### 4. 実験タウン

- 1) 全員参加モニタリング・シティ(エコ通勤)
- 2) 低炭素環境モデル街区の取り組み
- 3) 中根金田台地区緑住農一体型住宅の推進
- 4) 花と緑のまちづくりの取り組み(アーバンガーデニング)

## 【7】産業と観光

(産業)(産業振興マスタープラン)

(1) つくば市産業の現状と課題

人口の集積、科学技術拠点の集積、様々な機能の集積、拠点性、産業の集積、交通網、TX開業の影響

(2) つくば市産業の方向性

牽引力のある産業主体の育成と誘致:「まちの事業者を育成、補強する」、広域的な産業拠

点の形成：「地域の産業をリードするまちになる」

2-2-3. 産業人材の育成と誘致：「若者と優秀な人材が集まるまちになる」

2-2-4. 多様な産業主体のための環境整備整備：「まちに企業の居場所を確保する」

2-2-5. 地域資源の活用：「地域の長所を活かす」

2-2-6. 魅力的なまちづくりとの調和：「『つくばスタイル』を実現する」

(観光)

(1) つくば市観光の現状

(2) つくば市の観光施策の取り組み

・筑波山麓の活性化、施設の充実、催事の取り組み、グリーン・ツーリズムの実施、その他の観光振興策

(3) 観光の課題

観光実態の把握の必要性、観光における交通利便性の向上、観光資源の効果的な開発と PR、「おもてなし」を意識した観光施策の実施

(4) つくば市の産業と観光の可能性

## 【8】科学技術と平和

- ・大学、研究機関と市民生活
- ・原子力行政
- ・つくば市と市民の平和への取り組み

## 【9】付属資料

実行委員会の紹介(活動、メンバー)  
あとがき